



## 女性医師の窓

## 『そなえよ、つねに』

JCHO 金沢病院 麻酔科  
加畑 千春

## 『そなえよ、つねに』

これは、ボーイスカウト・ガールスカウトのモットーとして伝えられている言葉です。娘に教えてもらった時に、なるほど奥が深い！と感じてから、私が時々思い出す言葉です。「そなえ」とは、身体や技術や物質的な「そなえ」という意味もありますが、一番大事なのは、どんな時にもへこたれない心の「そなえ」であることをスカウトたちに伝えています。スカウトたちへの愛のある素敵な励ましのメッセージだなとは思いますが、しかし、このメッセージは、その時、その人によって、何に対して何をそなえるのかは異なりますが、どんな人にも伝えることができるものだと思います。

日常生活では、「目覚ましセットするの忘れてた!」「お母さん、バスマジックリンないね。」「そういえば、洗濯の漂白剤も買わなくちゃ。」なんていうことが我が家では茶飯事です。これらは、毎日の生活に必要な「そなえ」です。ある事態が起こった場合などに対し準備すること、例えば麻酔科の私の場合なら、麻酔中の様々なトラブルに対応できるように麻酔の技術を習得しておく、手術中の出血量を予測して輸血の準備をしておくなどは、麻酔科医としての「そなえ」でしょうか。そしてもう一つ、大事な「そなえ」について私は最近考えるようになりました。それは心の「そなえ」です。3年ほど前から病院のスタッフと一緒に緩和ケアに携わっていますが、緩和ケアこそ奥が深く、修行の足りない私は、日々、心が折れそうなことばかりです。ですが、がん終末期の患者さんやそのご家族の「ありがとう」の言葉に励まされ、癒しと元気をいただくおかげで、私自身、大切なものを失くした時の心の「そなえ」について、少しは考えられるようになったように思います。自分の健康や大切な人を失う時のことなんて、できれば考えたくはないのですが、私こそが感じる患者さんやご家族への感謝の気持ちが、その時の私の心の「そなえ」となっていくように感じています。

日常生活や仕事などいろんな場面で考えられる「そなえ」は、本当にたくさんあります。しかし、どの「そなえ」も最終的には、豊かで幸せな毎日を過ごしていくために蓄えられるものなのかなとは思っています。少しでも蓄えを増やすことができるよう、日常の小さなことからでも、「つねにそなえる」ことを心がけていきたいなと思います。

最後に。私の勤務する病院は、今年4月より法人化され、名称が「金沢社会保険病院」から「独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院」と改められました。金沢（と病院）以外かぶるところがなく、漢字20文字を並べた堅苦しい病院名は覚えるのも大変です。略称は「地域医療機構 金沢病院」または機構の英語表記であるJCHO (Japan Community Healthcare Organization) を使い、「JCHO (ジェイコー) 金沢病院」となりました。何が変わった？より公務員に近くなったと考えればよいようですが、今のところ私個人としては、これまでと変わらないようです。今後とも「ジェイコーかなざわびょういん」をよろしく願いいたします。